

# 「ジュート君は、どこの誰なんだい？」

「僕はね、いつてみれば、シナノキ科の

一年草なんだよ」とジュートは話し始めました。

「主にインド、バングラデシュ、タイ、

中国南部といった高温多湿地帯に生えていて、

種をまいてもらつて3〜4カ月で2m以上にもなるんだ。その後刈り取られ、

1〜2週間水につけ発酵させられてね、鞣皮(じんぴ)という

外側の皮をはがれ、繊維を取り出されるの「マ」まで一気に話し、

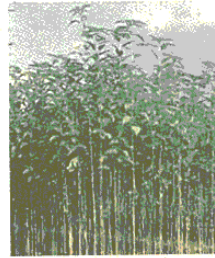
一息ついて、こう続けました。「それを水洗いして、

乾燥すれば、天然繊維の僕になるんだよ」

ジュートは故郷の豊かな自然と多くの仲間

のことを思いながら、話してくれました。

●ジュートの原産地と誕生までのお話



栽培されているジュート

